

平成22年5月20日

新型特急車両「16600系Ace（エース）」、6月19日デビュー！

～南大阪線・吉野線に、14年ぶりとなる新型特急導入！～

（大阪線や奈良線等に導入した「22600系Ace（エース）」と共通設計車両）

近鉄では、南大阪線・吉野線に平成8年の「16400系ACE」導入以来14年ぶりに、6月19日より新型特急車両「16600系Ace（エース）」を導入します。

この特急車両は、平成21年4月に標準軌線である大阪線や奈良線等に導入した「22600系Ace」と共通設計の車両です。特に車内の快適性にこだわり、座席間隔や背もたれ高を拡大したプライベート感のあるシート、落ち着きと高級感を意識したインテリアデザイン、温水洗浄便座の導入やコンセントの設置、分煙強化など高水準の快適空間を実現しました。

一方、外観は、伝統的な近鉄特急のイメージカラーを踏襲しつつ、丸みを帯びた凹凸のない形状で、滑らかさとスピード感を強調しています。

まずは4両を導入し、逐次旧型特急車両との入れ替えを進めていく予定です。

大阪線や奈良線等に先行導入した「22600系Ace」は、座席の快適性や機能性等においてご好評を得ています。南大阪線・吉野線においても、快適性を追求した新しい「Ace」のサービスで、ゆったりした通勤や出張、楽しい旅行を演出していきたいと考えています。

記

1. 名称 「16600系Ace（エース）」
2. 導入時期 平成22年6月19日
3. 運用路線 南大阪線・吉野線
4. 新造両数 2両編成×2編成 計4両
5. 建造費 約8億円（4両分）



「16600系Ace（エース）」



車 內



喫煙室外觀